

平成 23 年度 財団法人いびがわ 事業計画書

事業目的

財団法人いびがわは、揖斐川町の地域づくりの組織として地域と連携を図りつつ、揖斐川町が整備した町営施設及び観光拠点として整備した町営施設を管理運営するとともに、地域の活性化に関する諸事業を推進することにより、地域住民の生活、文化及び地域経済の発展向上並びに観光事業の振興を図り、活力ある明るい町づくりに寄与することを目的とする。

事業の概要・指針

① 揖斐川町藤橋新山村振興等農林漁業特別対策施設

揖斐川町藤橋農林水産物処理加工施設（特産品加工施設管理運営）

地域性を活かした商品の充実を図るため、地元関係者とも協力して揖斐川町の地域性を活かした特産品の開発に取り組む。藤橋庵への材料供給は製造時の無駄を最小限に抑える工夫をし、また、供給が滞ることのないよう連絡を密にする。そばの原材料の一部については、地元生産農家からの仕入れも検討する。併せて加工施設利用促進を地域に働きかける。施設は適切に清掃等を実施し、関係法令を遵守した管理運営を行う。

② 揖斐川町藤橋農山漁村活性化定住圏創造施設

地域特産物販売施設（道の駅物販施設管理運営）

地域グループ及び運営する各道の駅並びに財団の他施設の協力も得て、店頭販売や体験教室及びミニイベントを独自企画及び共同企画開催し、道の駅一帯の活性化に繋げる。

新鮮野菜販売には、販売の場を提供することで地域農業の活性化に寄与する。来場者の大きな目的である新鮮野菜販売所を更に充実し、一方では安全・安心を第一に地域農家に協力を仰ぎ来場者の求めに応じる。地域の特産品開発に携わるグループからの商品受入れを積極的に行い、地元産品の充実を図る。また特産品加工施設や月夜谷ふれあいの里施設等他の管理施設と連携を図り、地域生産品、徳山ダム関連商品等の販売促進協力で売上の相乗効果を図る。応対やサービス面では更なる充実を図り、活気ある店作りを目指す。今年度は、企画開発担当を置き総合的な観点に立ち前述のような事業を更に推進し「揖斐谷ブランド」としての確立を目指す。

関係法令を遵守した管理運営を行い、施設は適切に清掃等を実施する。

バーベキュー園（藤橋庵管理運営）

そばに特化した運営を行う。季節メニューや新メニューを取り入れ顧客満足度を高める。食材は道の駅で販売している地元野菜等の活用を優先する。

関係法令を遵守し、食の安全と健康に配慮する。

そばの受給先である特産品加工施設と連絡を密にし在庫管理を徹底する。地域行事への参加も検討し、地域住民や都市との交流を図る。

特用林産物生産施設 集出荷加工施設（椎茸施設管理運営）

品質管理を徹底した上、菌床導入時期を調整し、椎茸の収穫時期と数量を綿密に計画する。道の駅物販施設、地域の方々への直接販売、財団内飲食施設への提供を主に、「椎茸」の安定的な供給に努める。

配食サービス事業、

集出荷加工施設の一部を利用して事業を行う。福祉事業の一環として、老人世帯・独居世帯の支援に向けて、地域包括支援センターやシルバー人材センターと連携し弁当を製造し提供する。利用者の希望を可能な限り取り入れ、地元の食材も取り入れたメニューを作成する。また、栄養のバランスや季節感も取り入れ、利用者の食生活の充実を支援する。

緑地公園・ハーブガーデン（道の駅公園管理）

四季を通じて自然の潤いと安らぎが実感できる公園として、花苗を植栽し除草等の整備を行い、花と緑が楽しめる場を提供する。

道の駅駐車場・歩道管理・情報交流館管理・公衆トイレ管理

道路情報を正確かつ迅速に案内する。揖斐川町の情報（イベント・観光案内）はもとより近隣市町村の情報も提供する。公衆トイレも毎日定時に清掃を行い、利用者に不快感を与えない清潔な場所を提供する。また、冬期の降雪時には施設内歩道の除雪を迅速に行い、安全性、利便性を高める。

③ 揖斐川町教育交流施設

レストラン星のふる里管理運営

使用する食材は可能な限り道の駅施設で販売される野菜や地域食材を取り入れ、手作りを基本に日々のメニューに活用する。また、地域が求める弁当製造等も積極的に対応し、地域の利便性を高める。

多目的ホールは法要や団体利用者はもとより、会議利用も受け入れ、利用率の向

上を図る。関係法令を遵守し、利用者が求める食の安全を図る。

エントランスホールは、清掃・美化を心がけ来場者を迎える。徳山民俗収蔵庫と連携を図り来場者の入場が円滑にできるよう努める。ホール展示希望者、使用希望者にも対応し、地域紹介及び活動紹介の場として提供する。

④ 揖斐川町藤橋産業振興施設

高齢者木工加工活動施設（木工所管理運営）

木工所の利用促進を図るため、財団ニュース等に掲載し利用を呼びかける。一方、管理施設の軽微な修繕や造作を行う役割を担う。

特用林産物展示実習施設

建物・付属設備・備品等の清掃、点検を実施し、良好な環境を保つよう努める。

⑤ 揖斐川町貝月森林総合利用施設

貝月森林総合利用施設管理運営

久瀬温泉施設も含め総合レジャー施設として位置づけ、宿泊施設の運営、スポーツレクリエーション施設の運営等、年間を通し運営を行なう。新たな取組みとして各種スポーツ団体や山岳関係者等と連携を図り宿泊施設の稼働率向上を目指す。また、貝月山登山の拠点作りを積極的に進める。グリーンシーズンの集客向上を図る一貫として引き続き花かざり事業に取り組む。また、独自ミニイベント（ゲレンデ登山、釣り大会等）を開催し利用促進を図る。冬期は揖斐高原日坂スキー場関連施設の管理運営を行う。索道運行に関しては安全運行を最優先とし、関係法令、省令を遵守し、事前の講習会参加、設備点検、従事者の訓練を実施する

⑥ 揖斐川町月夜谷ふれあいの里総合利用施設

月夜谷ふれあいの里施設管理運営

自然環境を生かした上質な癒し空間を提供し、自然とのふれあいを最大の利点とした施設として位置付ける。加工体験や農業体験等のミニイベントを計画し、体験滞在型施設として利用客の満足度を高める。自然とふれあい、協働体験を通して健全な精神を育成する教育施設としての利用を各方面に働きかけ、利用促進を図る。また、特産品製造においては、食の安全・安心・手作り感を重視し、地域性の高い商品の製造にあたり、地域住民への提供や道の駅物販施設等各施設での販売提供、地域イベントへの出店販売も行う。

⑦ 揖斐川町久瀬温泉施設

久瀬温泉施設管理運営

心身の健康増進を目指し、清潔で親しみやすい温泉運営を行う。

揖斐高原一帯の施設として、貝月リゾートと連携し集客を図る。また、地域住民交流の場としての役割も担う。ミニイベントを実施し利用者の増加及び満足度を高める。入浴施設として適正な管理に努める。

⑧ 揖斐川町谷汲特産品加工展示販売施設

谷汲特産品加工展示販売施設管理運営

展示販売施設は、揖斐川町の特産品を中心に地域や近隣の特産品を集め幅広い年齢層に対応できる商品構成を行う。地域の農家と連携を図り、新鮮で安全な野菜や民芸品等の販売も行う。

飲食施設については、無駄を省き効率良い運営を行う。加工施設については、地域住民や振興事務所、関連団体と施設の有効的な活用について協議し、体験イベントや特産品開発を行う施設としての利用頻度を高める。

⑨地域の居住環境に関する事業

藤橋マンション管理

関係方面の指導や協力を仰ぎマンションを活用した事業展開を図るべく検討する。また、償還方法についても関係者と引き続き協議を重ねる。

⑩ 総務関係

公益法人制度改革

公益法人制度改革関連法案に沿って、一般財団法人としての認可申請に向けて協議を進める。理事会・評議員会向けの検討書を作成し、手順に従い審議承認を受け移行認可申請書を提出できる準備を進める。